



セランガン・バツ リード・デッキ材 断面図

<http://www.satobussan.co.jp/>

【木材の性質】 心材の色調は、黄色、黄褐色、褐色、赤褐色などを示し、辺材は淡色で両者の境界はかなりはっきりとしている。木理は交錯し、肌目は精である。

比較的自然的欠点は少なく、ブリットルハートも少ない。新しい丸太は虫害をうける。辺材部はキクイムシ類の被害をうけることがある。

気乾比重の値として 0.84~1.10(Selangan Batu) その物理的、強度的性質の一部をつぎの表に示した。

| 比重:含水率 | 収縮率% | 静的曲げ |
|------------|--------------|--|
| 1.19~1.23: | 4.3~7.0(R) | 203~241 (ヤソ [*] 係数・1000kg/cm ²) |
| 39.0~46.5% | 10.3~12.2(T) | 1370~1500 (強度・kg/cm ²) |

また Selangan Batu の許容応力度(kg/cm²)として下記の表の値が出されている。

| |
|------------------------------------|
| 被覆のある乾燥箇所: 曲げ192/縦圧縮151/横圧縮43/剪断12 |
| 湿った箇所: 曲げ144/縦圧縮109/横圧縮28/剪断12 |

注意して天然乾燥しないと表面割れや木口割れなどが出やすい。乾燥には長期間を要する。また、屋根などで覆って天然乾燥を行った方が欠点を防ぐのによい。

このようなことからわかるように耐久性は高く、マラヤ産のこのグループの木材は、接地して大気にさらされるような用途に用いる場合、平均寿命は10~18年であるとしている。防腐剤の注入は一般にその耐久性が高いことからなされてはいない。しかし、その心材は注入し難いが辺材は注入しやすい。Meranti 類などにみられるほどブリットルハートの出現はひどくない。心材が害虫をうけることはきわめてまれであるが、辺材はキクイムシ類の被害をうけやすい。

木材が硬いことから、切削が容易ではない。また、交錯木理、その硬さなどから飽仕上げもよくない。

【用途】 木材が硬く重いためいろいろの機械加工などは容易でなく、人工乾燥も容易ではない。また一面耐久性が高く、強度も高いので、加工度の高い用途よりも、それらの特徴を生かした重構造用材としての用途、枕木用材、橋梁用材、埠頭用材などに用いられる。

参考文献: 農学博士 須藤彰司 著 「南洋材」より抜粋